

RICEBALL SEMINAR 2018

様々な分野の先輩若手研究者が、自身が行っている研究内容の紹介、研究者の道に進んだきっかけや国際学会での発表体験、ラボでの日常などを発表します。発表内容を踏まえたフリーなディスカッションを通して、互いの理解を深め、この機会にみなさんの「研究」や「学び」に生かすとともに、大学院の魅力を再発見してみたいはいかがでしょうか？

10/19
FRIDAY
12:20

逆線引きを用いた 非都市化による コンパクトシティの形成

研究者の道に進んだきっかけ

シャッター街、空き家、交通弱者、インフラの老朽化等、聞いた事がある都市問題は多くあると思います。これらの問題を自分が解決してやる!と思って、研究者を目指しました。

研究の内容

人口減少により、都市化すべき範囲をどのように適正に定めるかが非常に重要な課題となっています。現在の都市構造における問題点や、日本全国の「逆線引き」の実態等を把握する事で、コンパクトシティ形成に向けた政策提言を行います。

吉田 隼斗 [理工学研究科 博士前期課程2回生]

毎週 金曜日 12:20-12:50

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
コーニングハウスI C107

参加無料 [おにぎり・揚げもの付]

10/26
FRIDAY
12:20

低酸素環境下での持久性 運動がコンディション 関連指標に及ぼす影響

研究者の道に進んだきっかけ

競技力向上に有効な、科学的なトレーニングおよびコンディショニングの知識を有した上で、スポーツ競技者に携わりたいと思ったからです。

研究の内容

競技力向上を狙いとする上で、コンディショニングを良好に維持しながらトレーニングを継続することは極めて重要です。そこで私は、多くの持久性スポーツ競技者が取り入れている低酸素(高地)トレーニングが、鉄代謝や筋肉の損傷などのコンディショニング関連指標に及ぼす影響を研究しています。

角 大地 [スポーツ健康科学研究科 博士後期課程2回生]

11/02
FRIDAY
12:20

高速道路合流部 における個人適合型 運転支援システムの開発

研究者の道に進んだきっかけ

大学4年生時より本格的に研究活動を始めた時に、大学院2年生の専門的な知識量が豊富であることを目の当たりにしました。これが、きっかけとなり大学院に進学しました。

研究内容紹介

高速道路合流部において本線合流を苦手とするドライバが多く存在しています。また、ドライバ毎に運転方法は異なります。そこで、ドライバ毎に運転支援内容が異なり、ドライバが本線に滑らかに合流できるように支援する運転支援システムの開発を行っています。

末廣 優樹 [情報理工学研究科 博士前期課程2回生]

11/09
FRIDAY
12:20

Androidにおける グローバルIDの 利用実態調査

研究者の道に進んだきっかけ

システムソフトウェアやセキュリティという領域にチャレンジしてみようと思ったときに、残りの学部生の期間(1年半)では足りないと感じたことが大学院進学のかきかけです。

研究内容紹介

Androidアプリは、スマートフォンの普及に伴い、多種多様な場面で利用されています。これらのアプリは、利用者の識別を目的に機密性の高い情報を取得していることがあります。本研究では、その実態を第三者が検証できる機構を構築し、実際に実態調査を行っています。

福田 泰平 [情報理工学研究科 博士前期課程2回生]



お問い合わせ

立命館大学 BKCリサーチオフィス
BKCライスボールセミナー事務局

TEL
077-561-3488

共催

立命館大学総合科学技術研究機構、立命館大学BKC社系
研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構

協力

経済学研究科、理工学研究科、情報理工学研究科、薬学研究科、生命科学研究所、スポーツ健康科学研究科

